



決算説明会

第31期（2020年2月期）

株式会社グラフィックデザイン

7 8 4 7

2020年 4月 17日（金）



免責事項

本プレゼンテーション資料に記載されている株式会社グラフィックデザインの今期の事業内容に関する記述、将来の数値、各種グラフなどは弊社における将来の見通しを示すものです。当該資料の作成にあたっては、経営部門が入手した情報に基づく予測及び判断を基礎としております。

したがって、これらの実現については、弊社が継続して事業を展開する上で不可避の潜在的リスクである、経済状況、新サービスの成否、他社との競争状況などの不確実性を含んでいます。

本プレゼンテーションにおいて使用されている商標は、関係各社の保有する登録商標または出願商標です。



1. 2020年2月期の実績

(財務ハイライト)



2020年2月期の実績

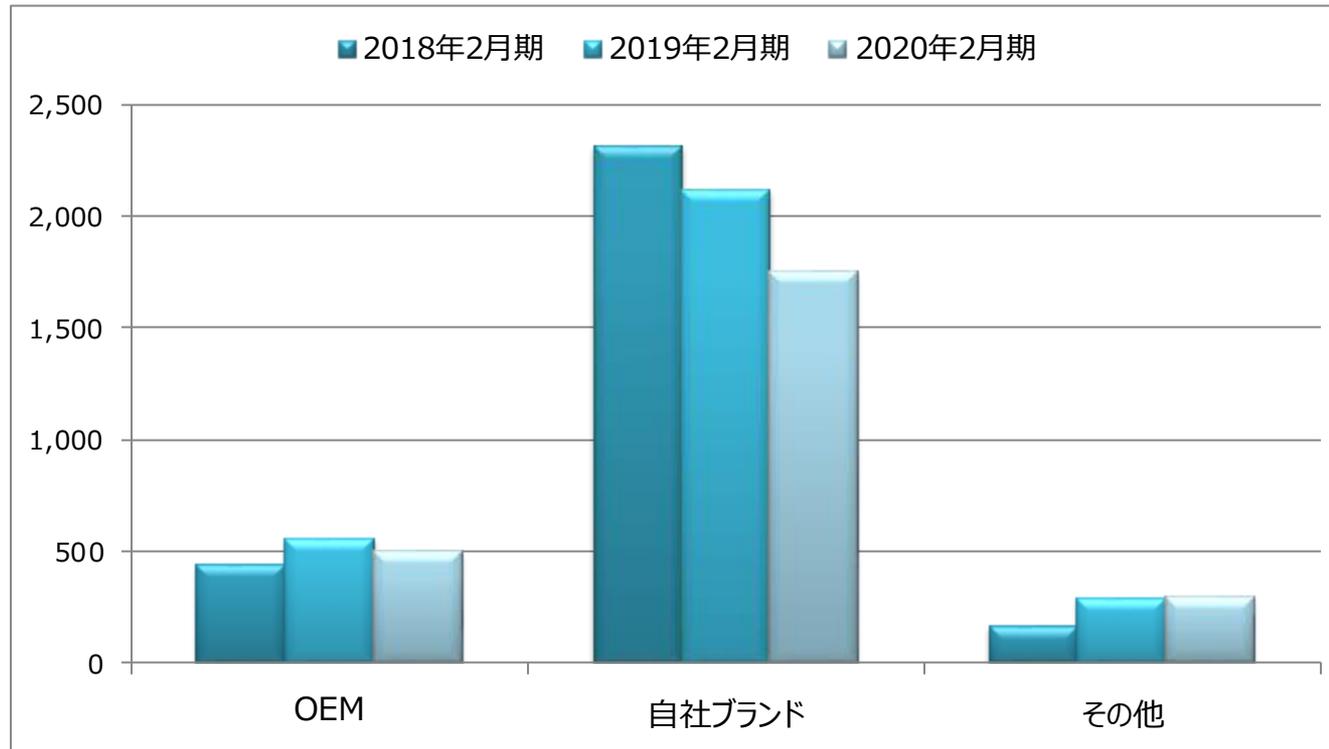
(百万円)

	2019年 2月期	構成比	2020年 2月期	構成比	前期比 増減率
売上高	2,965	-	2,542	-	14.3% 減
営業利益	356	12.0%	61	2.4%	83% 減
経常利益	376	12.7%	60	2.4%	84% 減
当期純利益	249	8.4%	45	1.8%	82% 減



売上構成（実績）

（百万円）



	OEM	自社ブランド	その他	計
2018年2月期	441	2,316	164	2,921
2019年2月期	553	2,122	290	2,965
2020年2月期	498	1,753	291	2,542



貸借対照表

(百万円)

科目	2019年2月	2020年2月
資産の部		
流動資産	4,316	4,256
固定資産	1,143	1,052
有形固定資産	853	817
無形固定資産	34	36
投資その他の資産	255	198
資産合計	5,459	5,309

総資産	5,459	5,309
純資産	4,451	4,368
自己資本比率	81.5%	82.3%

科目	2019年2月	2020年2月
負債の部		
流動負債	730	637
固定負債	277	303
負債合計	1,008	940
純資産の部		
資本金	589	589
資本剰余金	582	582
自己株式	-456	-423
利益剰余金	3,750	3,619
株主資本合計	4,466	4,368
評価・換算差額等合計	-14	0
純資産合計	4,451	4,368
負債・純資産合計	5,459	5,309



2. 2021年2月期の通期見通し

(業績見通し)



2021年2月期業績見通し

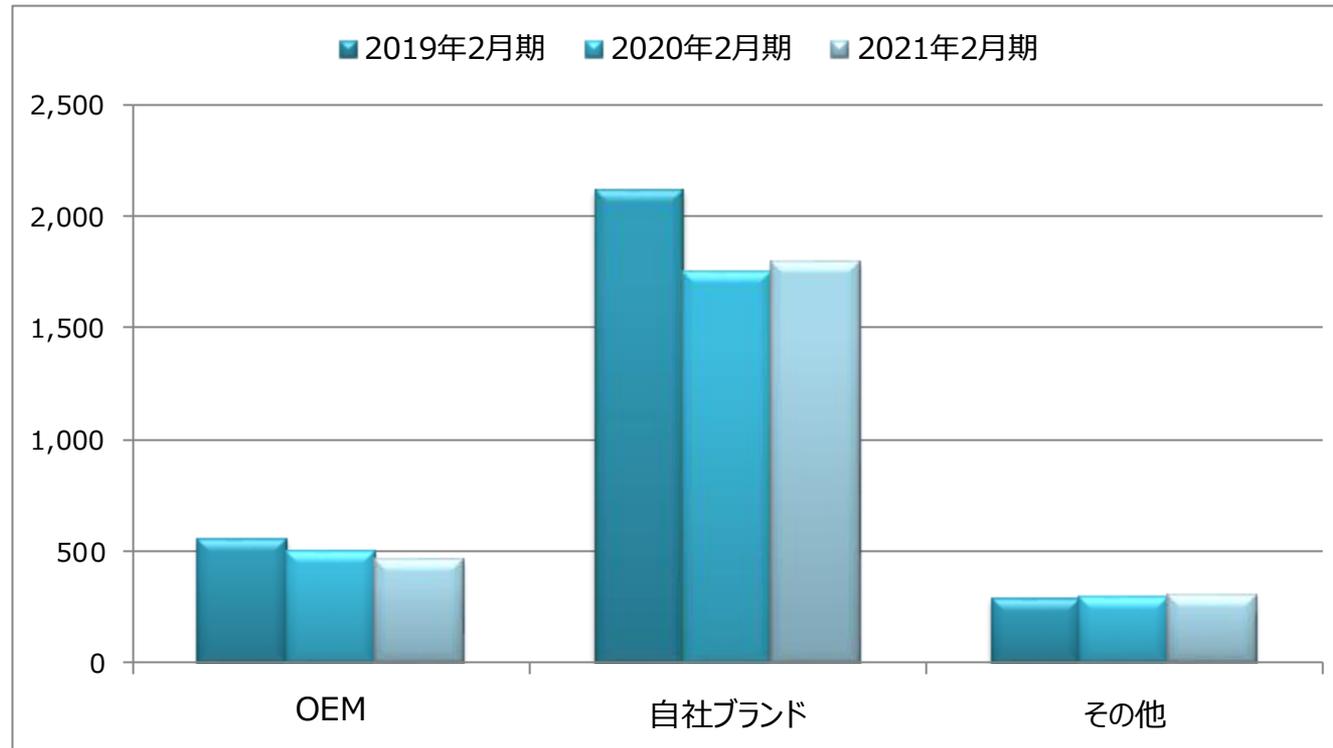
(百万円)

	2020年2月期				2021年2月期 予想				対2020 増減率
	上期	下期	通期	構成比	上期	下期	通期	構成比	
売上高	1,436	1,106	2,542	-	1,030	1,530	2,560	-	0.7% 増
営業利益	55	6	61	2.4%	8	145	153	6.0%	150.8% 増
経常利益	23	37	60	2.4%	7	144	151	5.9%	151.7% 増
当期純利益	20	25	45	1.8%	3	93	96	3.8%	113.3% 増



売上構成（見込み）

（百万円）



	OEM	自社ブランド	その他	計
2019年2月期	553	2,122	290	2,965
2020年2月期	498	1,753	291	2,542
2021年2月期	460	1,800	300	2,560



業績の推移

(百万円)

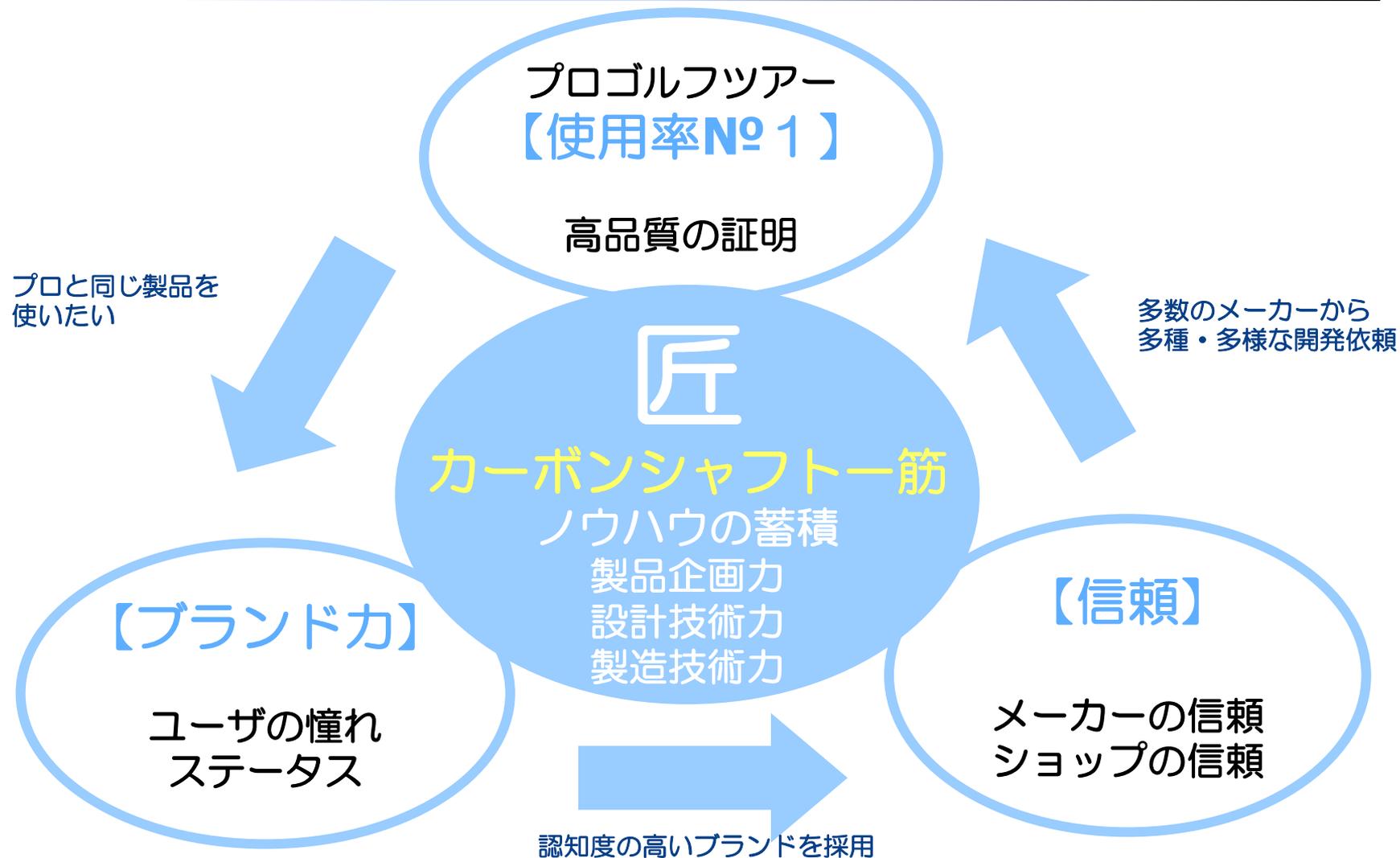




3. 現状と今後の展開

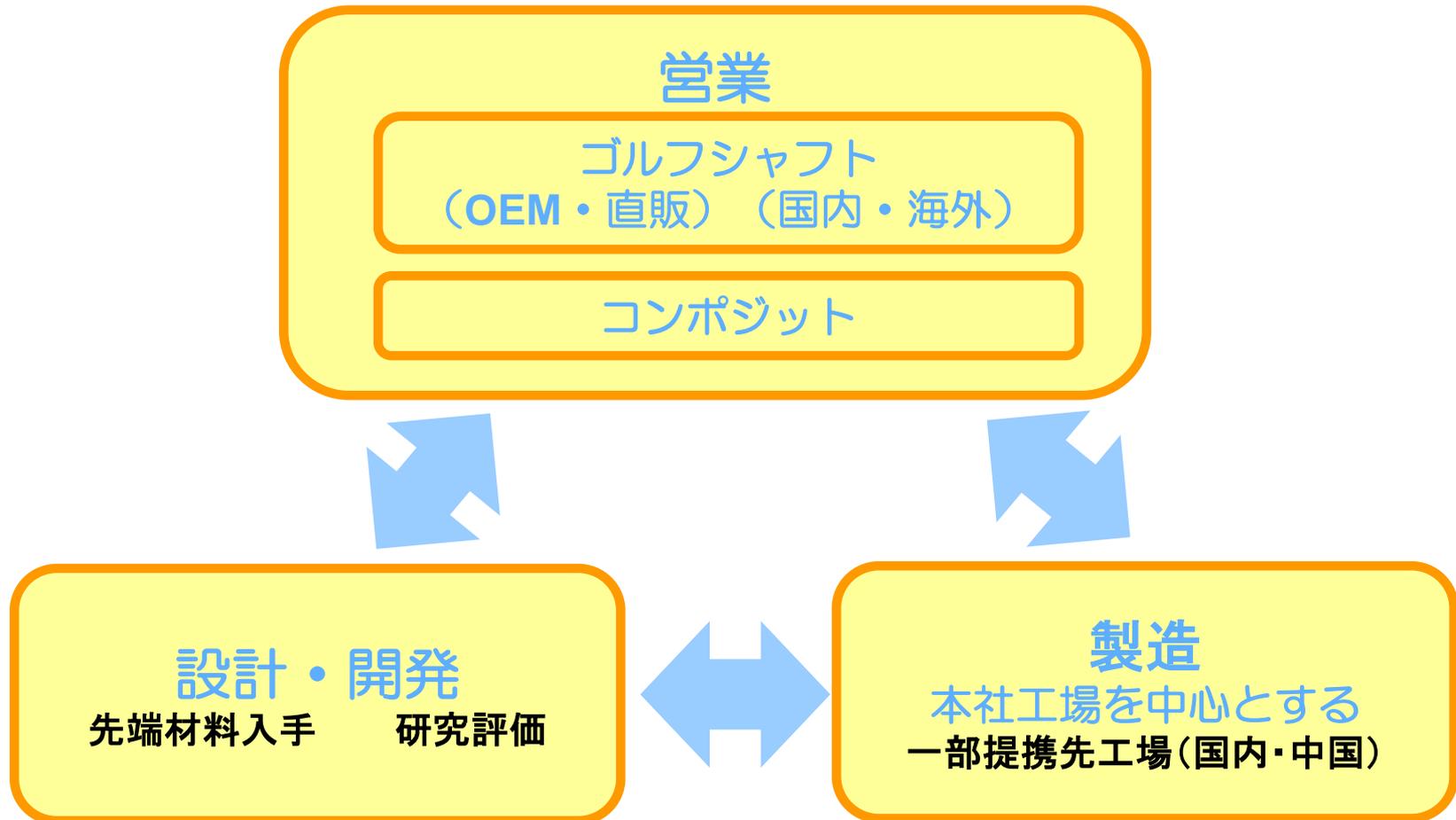


当社の強み





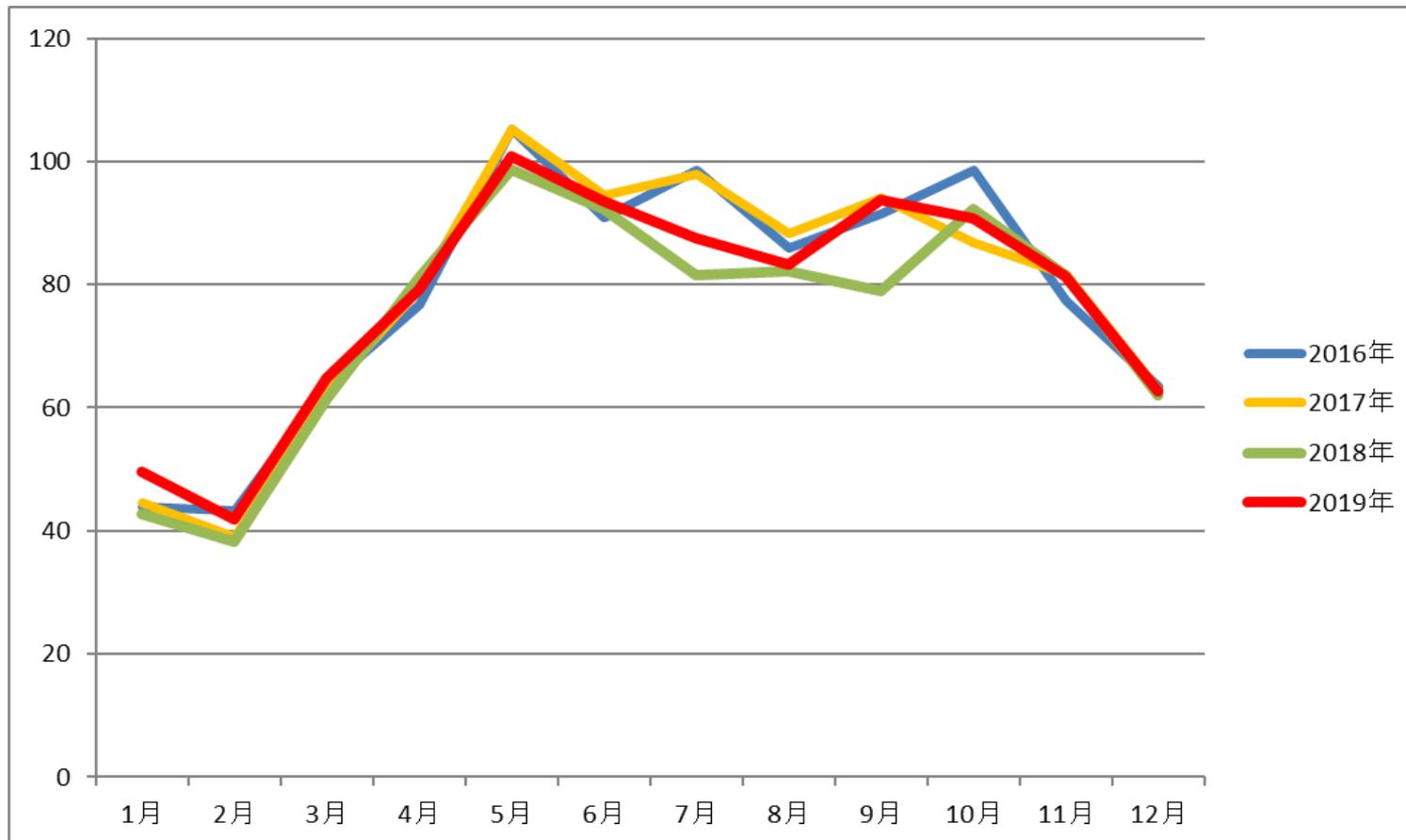
体制





ゴルフ市場動向（1）

— ゴルフ場入場者数比較 —



(資料：特定サービス産業動態調査：経済産業省)



ゴルフ市場動向（２）

— 2019年度のゴルフ市場状況 —

※ゴルフ用品全体が微減

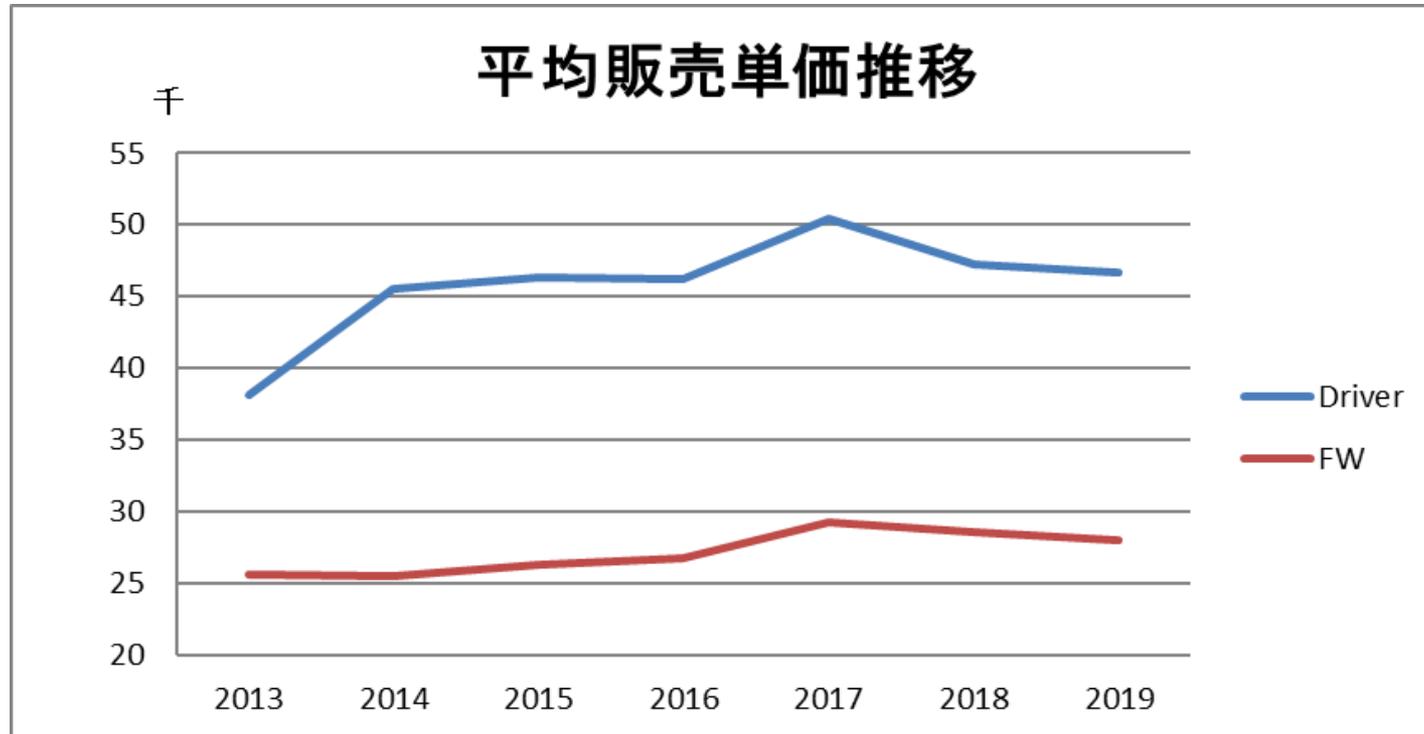
	前年同期比
ゴルフ場入場者数	104.1%
ゴルフ用品全体の販売金額	98.2%
ゴルフクラブ販売金額	98.7%

【 ゴルフクラブの 前年比 】

品種	販売数量	販売金額
Driver		
	101.2%	99.3%
Fairway wood		
	96.1%	94.4%



ゴルフ市場動向（3）



・近年のクラブ価格は適正化された



ゴルフ市場動向（４）

【ゴルフ市場活性化のための業界の取り組み】

1. R&AとUSGAが「ゴルフ規則を近代化するための変更」（ルールの簡素化） 2019年より施行
2. 新規ゴルファー創出・プレー機会の増加
3. 各クラブメーカーによる「高反発クラブ対応」
4. 高反発ボールの市場拡大（非公認及び公認）

【新型コロナウイルスの影響】

- ※ 今年度のプロゴルフツアーの再開は、いつになるのか？
- ※ ゴルフ用品の販売にどれほどの影響が出るのか？
- ※ ゴルフが競技種目となっている、2020東京オリンピックが延期！
- ※ USPGAツアー、日本開催できるのか？



シャフト事業の今後の展開

1. 国内ツアー使用率No. 1 を維持
 - ・ブランド地位を一段と強固に！
2. 新製品開発
 - ・毎年 1 モデルの主力製品を発売
 - ・プレミアムゾーンのリシャフト専用シャフトの継続開発
 - ・第3のブランドを企画開発（近日発売予定）
3. ブランド力を生かした更なるシェア拡大
 - ・リシャフト市場の拡大
（各施策による販売店満足度向上⇒GDシャフト発注数UP）
 - ・他業種とコラボした販促活動

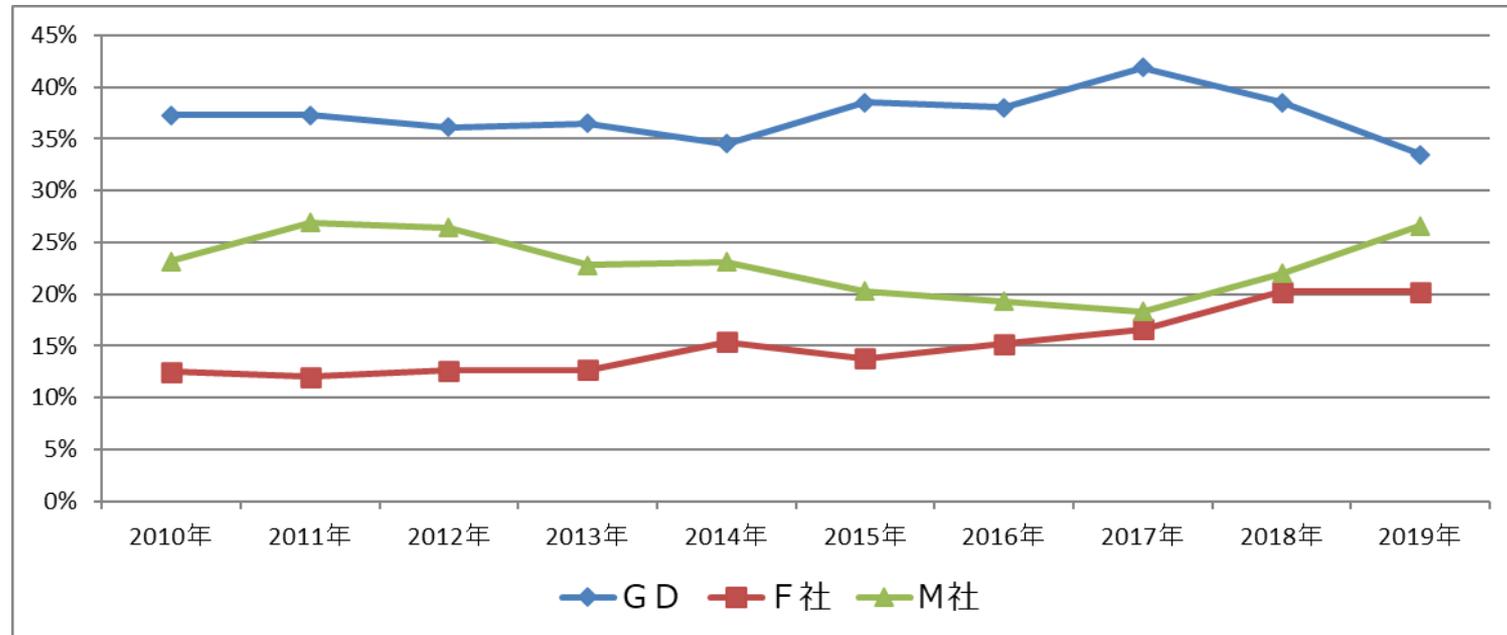
※新型コロナウイルス対策

- ・新ブランド展開の方法を検討



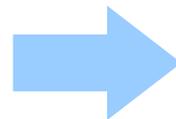
国内ツアー（10年間の推移）

日本プロツアー 全Wood shaft使用率（男子）



（資料：ダレルサーベイ社）

- 品質における信頼性の構築
- ブランドの確立が強固

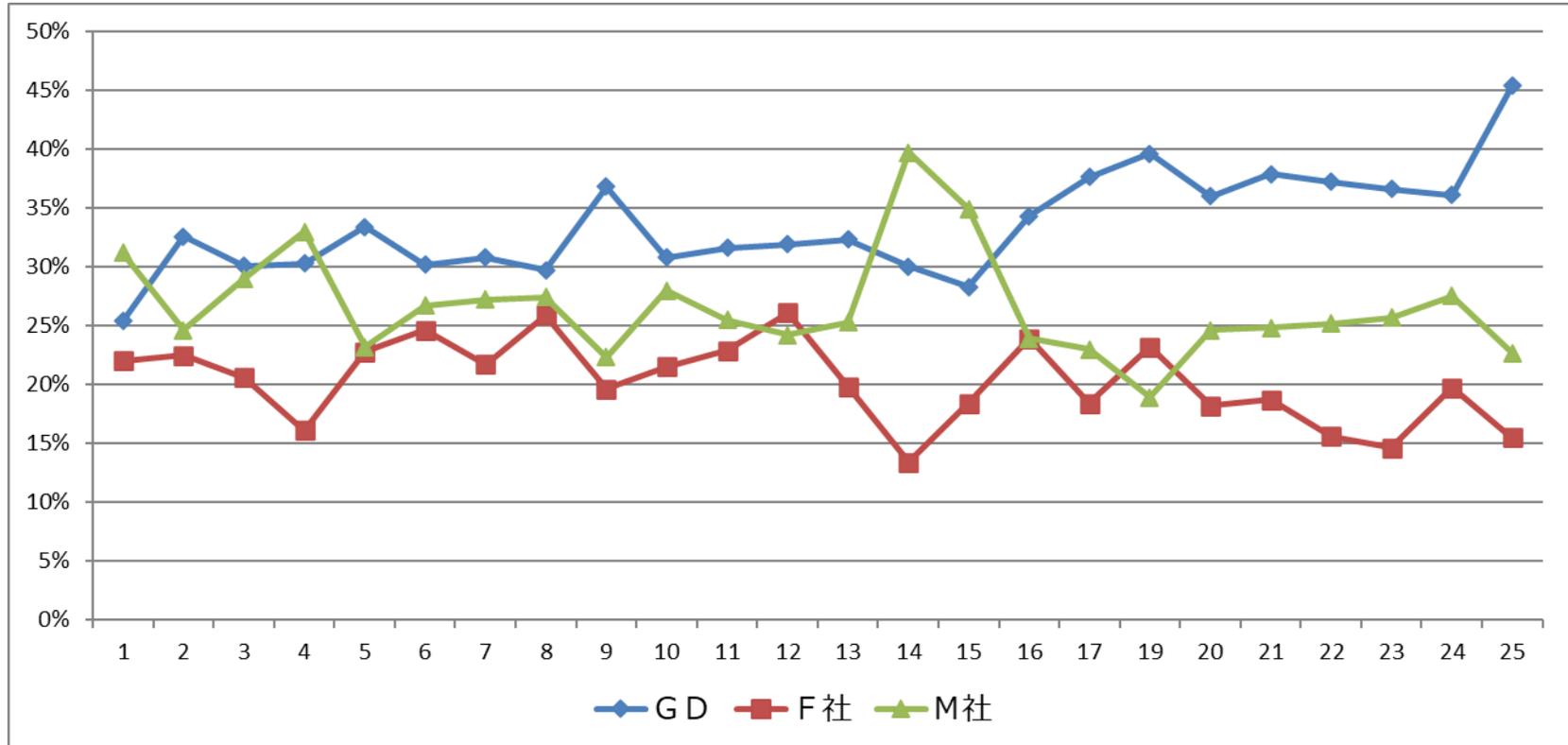


- カスタム品販売拡大
- リシャフト市場での販売拡大



国内ツアー（2019年度）

2019年度日本プロツアー 全Wood Shaft使用率（男子）



(資料：ダレルサーベイ社)



自社ブランド (2020モデル)

— Tour AD 2020モデル XC —

XC

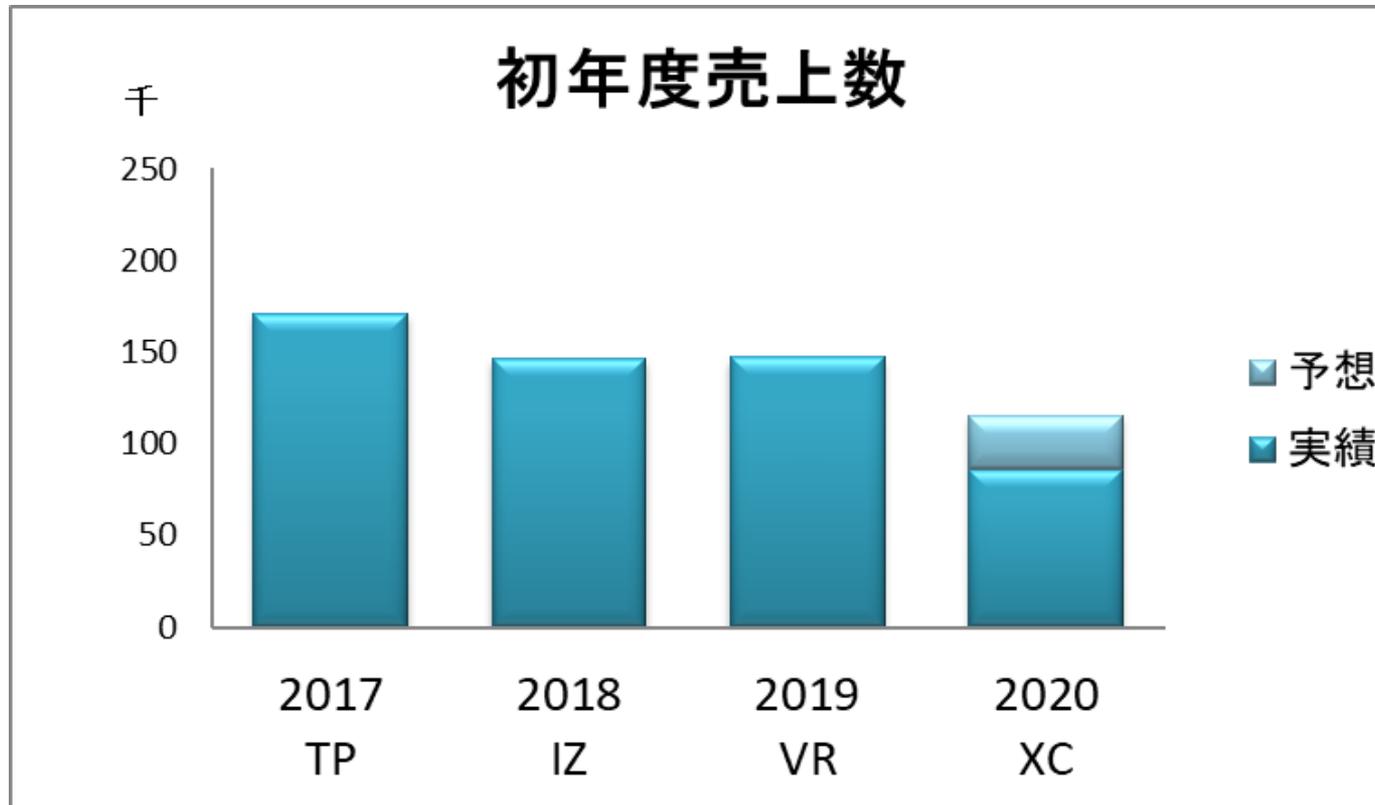
【 Xtra Carry 】

グラフィットデザイン専用設計のトレカM40x使用

ヘッドの性能を活かす
強いしなり戻りと暴れ
ないインパクトを実現



自社ブランド 販売状況



※販売開始から1年間の実績（8月～翌7月）

2020モデル「XC」

過去モデルに比べ大幅に減少



自社ブランド (新ブランド)

新ブランド 「G」

— Tour AD と並ぶ もう一つの ブランド —



多くのアマチュアゴルファーに向けて！

- ・ 優しさの追求！
- ・ 誰もが振りやすい！
- ・ 女子プロの使用率向上！



自社ブランド

【リシャフト向けプレミアムゾーンの製品（秩父）】



試打会での評判良好（飛距離UP！） 口コミで広がりを見せている
（WoodからIronまで全て揃う）



自社ブランド展開

Wood



—ラインナップ—

VR IZ
MJ MT
DI DJ

Utility (Hybrid)



・米国での需要が高まる
アンから
tyへ

Iron



軽量からスチールライクまで対応

プレミアムゾーン



新ブランド





テストセンター活用

テストセンターの活用による 販売促進

ハイスピードカメラ



試打ロボット



レーザー弾道測定機





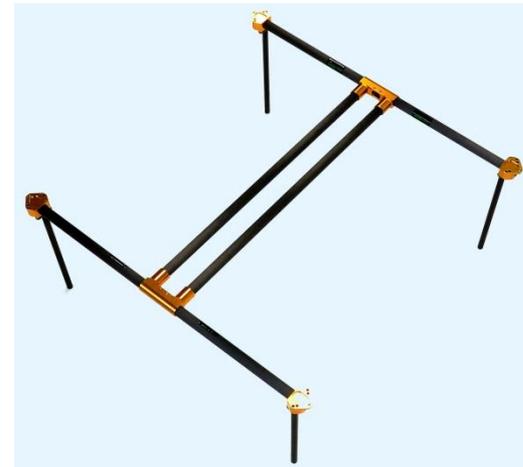
【新分野開拓】





採用実績 (1)

- 自動車関連
オプションパーツ (ストラットタワーバー他)
- 日用品関連
文具等
- ドローン関連
ドローン用CFRPフレーム他
- 産業関連
ロボット用パイプ等
- その他多分野





採用実績 (2)

● 陸上競技用やり

— “カーボンレイアップテクノロジー”を投入した、CFRP製の陸上競技用やり —

(株式会社ニシ・スポーツとの共同開発)

NF450 やり Super GD Carbon Type I



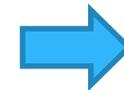
NF450 やり Super GD carbon Type II



● カーリング

— 世界最軽量カーボンハンドル — (カーリングブラシ用ハンドル)

ice Magic



(株式会社イシダスポーツにて販売)



パイプ製品加工技術の研究開発

【カーボンパイプ特殊加工】

・異形パイプ加工の研究・試作

楕円パイプ
角パイプ
曲げ加工
太径パイプ
細径パイプ

※十数社と取引

※幅広い産業分野への展開目指す

【新規プロジェクト】

・カーボン加工技術の向上
・カーボンの可能性を追求
・技術力の発信





展示会参加（取引先開拓）

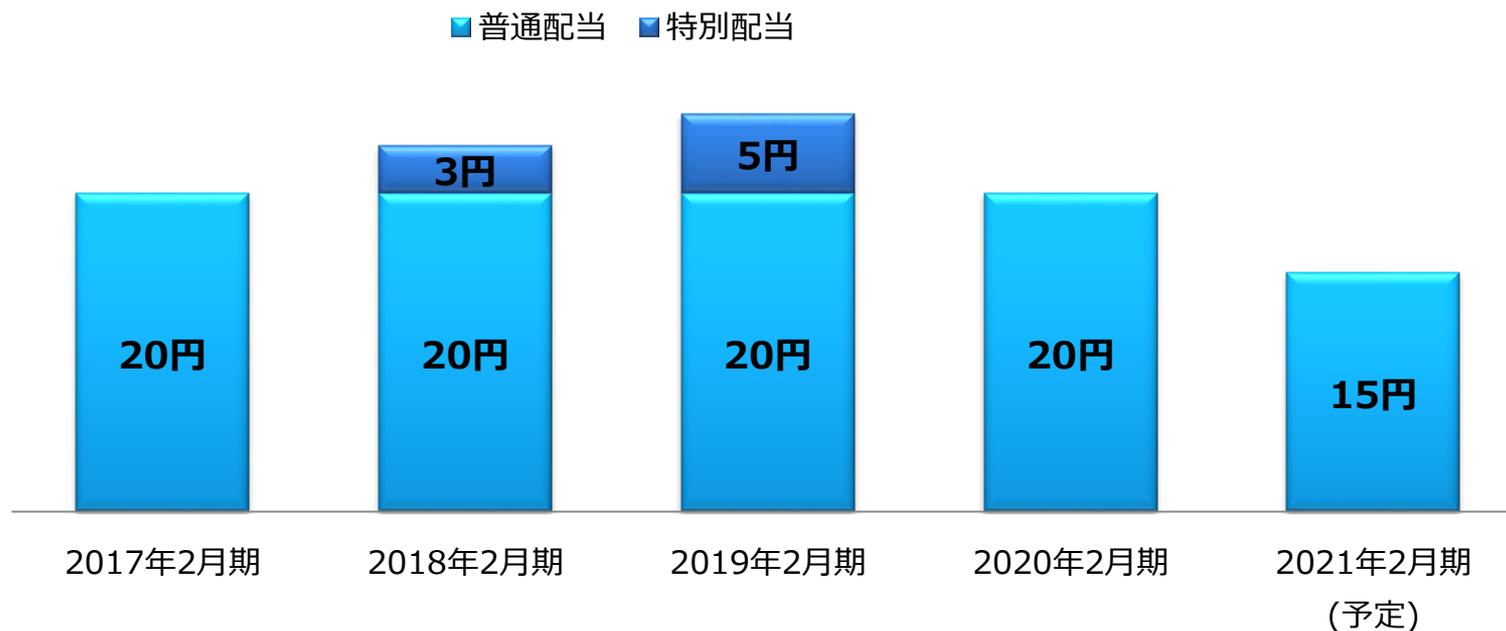
- 2013.6 出展開始
- 2019.9 sampe先端材料技術展2019に出展
- 2019.12 国際ロボット展2019に出展
- 2020.1 さいたまビジネスアリーナ2020に出展
- 2020.2 機械要素技術展（M-Tech）に出展





配当

配当金は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していきます。



配当性向： (51.8%) (57.3%) (64.3%) (284.9%) (100.4%)



本日は、ご清聴ありがとうございました。
今後とも、宜しく御願いたします。